

# KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが  
育つ古河



**石川丈慈 くん**  
(平成30年1月生まれ・東本町)  
みんなの希望！ しょうくん愛してる♡  
(父：佳亮、母：鳩子)

**西口奏汰 くん**  
(平成30年1月生まれ・駒羽根)  
ボール遊びが好きな奏汰♡ 元気にたくましく育ててね！  
(父：恵三、母：暁美)

**大木琉世 くん**  
(平成30年10月生まれ・幸町)  
いつもにこにこ♡優しい子に育ててね♡  
(父：崇弘、母：結奈)

**石川葉陽 くん**  
(平成30年8月生まれ・松並)  
うちの大天使葉陽くんです。  
(父：泰樹、母：芽依)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0~3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールのタイトルを「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティブロモーション課)へ申し込みください♪



## わたしの夢

### アニメーターと通訳 二つの夢に向かって

奥村佳奈さん 古河第二中学校3年生

私の夢は、英語関係の仕事かアニメーターになることです。私は、英語が好きで得意なので、通訳になりたいと思っていました。でも、ある日、スタジオジブリのアニメを見て、「こんな動きが描けるんだ」と感動しました。

今はまだ迷っていますが、英語をさらに勉強したり、もっとうまく絵を描けるよう部活で努力したりして、二つの夢に向かっていきたいです。



# キラリ☆光輝く人たち



## 行政区から国体という大舞台へ

茨城国体綱引競技の茨城県代表として出場が決定した恩名下坪TC・チーム東海連合。地元の絆を強めようと行政区が始めた綱引で国体という大舞台に立つことに繋がった過程や目標を、恩名下坪綱引チーム監督の山中健治さんに伺いました。

## 恩名下坪綱引チームの皆さん

### 地域に根付く綱引

チームが一丸となり力を合わせる綱引競技。恩名下坪行政区では、地域の結びつきをより強めようと、綱引に20年以上取り組んでいます。そこで育った山中さんは、自身の親世代が一生懸命練習をしている姿を見て、自分たちの世代でも継続したいという思いから綱引チームの監督を引き継ぎました。

### 運動会での優勝を目標に

恩名下坪綱引チームが最初に目標にしたのが、三和町町民運動会(当時)での綱引競技優勝でした。やるからには絶対に勝つという信念を持って練習に打ち込み、念願の優勝を果たしました。山中さんは、その頃を思い出して、大木に綱を巻き付けて引く練習までやりましたよ、と話します。今でも常に優勝を目指す意識は受け継がれています。

### 県代表としての誇りを胸に

平成25年には、国体の綱引競技の地元開催が決まり、チームにとって最高の舞台で活躍するという目標ができ、さらに一丸となって鍛錬し、市内や近隣の大会では着実に実績を積んでいきました。しかし、上位の関東・全国大会の壁は厚く、全国レベルのチームには全く歯が立たない日々が続いたそうです。

### この厳しい練習の成果が実

今年3月に開催された全国大会で好成績を残すことができ、国体出場につながりました。山中さんは、練習に打ち込むメンバーを支えてくれた家族や、県外から指導に来てくれた多くの綱引チームには感謝の気持ちでいっぱいだと話します。国体出場という目標をかなえたチームは、大舞台での勝利を目指し、準備に余念がありません。